

「川崎国際環境技術展2011」の開催結果報告書

川崎市のこれまでの環境への取組や国内外の企業等の有する優れた環境技術を、急速に工業化が進むアジア地域を中心に広く世界に情報発信し、国際的なビジネスマッチングの場を提供して、環境技術の移転による国際貢献、産業の活性化を目指し、「川崎国際環境技術展2011」を開催しました。

1 日 程 平成23年2月16日(水)、17日(木) 10:00~17:00

2 会 場 とどろきアリーナ

3 主 催 川崎国際環境技術展実行委員会

4 来場者数

2月16日(水) 約6500人

2月17日(木) 約6000人 合計約12,500人

5 開催概要

(1) 出展状況 市内企業を中心に118団体219ブースが出展

- ①環境改善技術関連16団体 ②廃棄物・リサイクル技術関連12団体
- ③新エネ・省エネ関連23団体 ④企業等の環境への取組関連26団体
- ⑤国際関連13団体 ⑥産学官連携関連18団体
- ⑦小品展示5団体

屋外出展5団体 試乗用電気自動車、エリーカほか

(2) ステージプログラム

低CO2川崎パイロットブランド選定結果発表会、特別講演、海外ビジネスマッチング成果発表、次世代エネルギーネットワークフォーラム、市立宮前平中学校事例報告

(3) 企画コーナー

「CCかわさき“エコ暮らし”への取組み」、電気自動車の充電体験・試乗体験

(4) オープニングセレモニー

2月16日(水)午前10時~ とどろきアリーナ内センターステージ
主催者あいさつ、来賓あいさつ、テープカットほか

(5) クロージングセレモニー

2月17日(木)午後4時30分~ とどろきアリーナ内センターステージ

(6) エクスカーション

市内の先進的な環境への取組現場への視察(4コース合計約80名参加)

(7) 環境出前授業

企業との連携により小・中学生を対象に環境学習会を実施(合計約500名参加)

(8) CCかわさき“エコ暮らし”ツアー

「CCかわさき“エコ暮らし”」のテーマに展示内容や見所を解説する会場内ツアー
(2コース合計約48名参加)

(9) 関連イベント

アジア知的財産フォーラム、第7回アジア・太平洋エコビジネスフォーラム

6 海外関係来場者

● 23カ国から約230名が参加

○海外招聘者

中国（上海・瀋陽・香港ほか）、韓国（テグ）、国際連合環境計画（UNEP）

○出展関係者

デンマーク、ドイツ、フランス、中国（上海・北京・瀋陽・塩城・香港）、テグ

○後援駐日大使館

オーストラリア大使館、中国大使館、デンマーク大使館、韓国大使館、ベトナム大使館

○後援以外の駐日大使館

ラオス大使館、ルワンダ大使館、レソト大使館、エチオピア大使館、マレーシア大使館ほか

○JETROバイヤー団

アメリカ、インドネシア、サウジアラビア、クウェートほか

7 アンケート結果

● 来場者（アンケート回収 764）

○来場の満足度について 非常に満足 5.9%

満足 55.6%

【合計で約62%の来場者が満足】

○次回以降の来場について 来場したい 78.4%

● 出展企業・団体（アンケート回収 113）

○出展の満足度について 非常に満足 14.2%

満足 60.2%

【合計で約74%の出展者が満足】

○ビジネスコンタクト数 国内 約500件

海外 約200件

